

生成AI時代の 人財政策と将来展望

第6回 ロジスティクス人財フォーラム

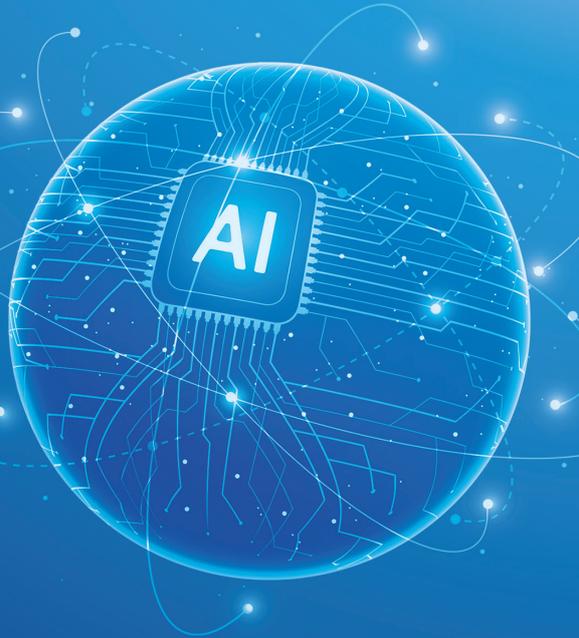
技術革新は日々目覚ましい勢いである。「生成AI」の登場により更に速度が増す。今後はどのように「生成AI」と付合えば良いのであろうか？

「生成AI」の第一人者、ビジネスの最前線での活躍の方、メディアで活躍の方をお招きして現在の状況を認識し、今後の方向性を見出したいと考えている。

17世紀に産業革命が生まれ260年以上、1946年に世界初のコンピュータである「ENIAC」が誕生して本年でちょうど80年目の節目となる。

歴史を振り返りながらご参加の皆様と一緒に今後の方向性を探りたく存じます。「生成AI」の進歩は止まらない。

以前にもまして必要な能力とは何であろうか？「生成AI」に使われるのではなく素晴らしい道具である「生成AI」を使いこなして自身の人生を切り開くには？困難な大きな課題であるが「AI」の長所、短所を理解し、皆様に希望を持って頂くシンポジウムにと考えております。本シンポジウムを通じて多くのヒントを得られることを期待しております。一緒に考えましょう。



タイムテーブル

- 1 開会
- 2 講演1 巳波弘佳 関西学院大学・副学長 工学部 教授
講演2 西成活裕 東京大学 大学院工学系研究科 教授
講演3 石澤直孝 日本郵船株式会社 NYKデジタルアカデミー 学長
- 3 ブレインストーミング
登壇者
杉田弘毅 明治大学特任教授、(社)共同通信社・客員論説委員
中野好純 株式会社船井総研サプライチェーンコンサルティング ディレクター
巳波弘佳 関西学院大学・副学長 工学部 教授
西成活裕 東京大学 大学院工学系研究科 教授
石澤直孝 日本郵船株式会社 NYKデジタルアカデミー 学長
モデレーター 清水俊晴 人財フォーラム株式会社 CEO
- 4 質疑応答
- 5 特別講演
駐日ウズベキスタン共和国全権大使 ムクシンジャ アブドウラフモノフ大使閣下
- 6 閉会(オンライン配信終了)
- 7 ネットワーキング(対象:会場参加者)

ブレインストーミングとは

複数の方が集まり自由にアイデアを出し合うことで、創造的な解決策を見つけるための思考法。批判を恐れずにアイデアを発言し、量を重視して多くのアイデアを生み出すことが目的である。1953年にアレックス・オズボーンが体系化。次の原則で行う。批判禁止。質より量。自由奔放。結合・便乗歓迎。

〈申込方法〉要申込
HPもしくは右記の二次元コードから申込



日時

2026年3月10日(火)
●14:00~17:15

参加対象

オンライン参加
●ご関心のある方はどなたでも可
定員:300名

受講料

無料(要申込) 3月8日(日)

申込マ
切

会場

関西学院東京丸の内キャンパス

東京都千代田区丸の内1-7-12
サピアタワー10階
(JR東京駅・東京メトロ大手町駅すぐ)

MAP



[主催] 人財フォーラム株式会社

[協力] 関西学院大学 東京丸の内キャンパス
[協賛] 海洋立国懇話会・株式会社ウィルテック

問い合わせ先: 関西学院大学 東京丸の内キャンパス open-seminar-tk@kwansei.ac.jp

特別ゲスト



ムクシンジャ アブドゥラフモノフ

駐日ウズベキスタン共和国
全権大使

1974年2月14日 生まれ
ウズベキスタン共和国フェルガナ州 出身
1996年 タシケント国立経済大学 卒業
1994年 カリフォルニア州立大学 チコ校留学
1998年 ウズベキスタン大統領府 国家・社会建設アカデミー 卒業
2001年 小樽商科大学 修士課程修了
2004年 北海道大学 博士課程修了(経済学博士)
2004年 Coca-Cola Uzbekistan LLCセールスマネージャー
2006年 北海道大学 博士研究員
2008年 MTRUST Co.,Ltd.代表取締役社長
2018年 フェルガナ州副知事、投資貿易局長
2021年 ウズベキスタン共和国外務省経済外交局対外投資担当部長
2021年 駐日ウズベキスタン共和国全権大使 就任
現在に至る
ウズベク語、ロシア語、タジク語、英語、日本語、アラビア語に堪能

進行 木村 勝 (きむら まさる)



関西学院大学
東京丸の内キャンパス運営課 課長

1992年関西学院大学社会学部卒業。株式会社三越入社(現:株式会社三越伊勢丹)日本橋本店婦人用品部配属。婦人服販売に従事2000年日本橋本店営業人事へ異動。労務担当として労使問題・対組合対応・働き方改革を行う。その後、人事関係全般を担う。2008年学校法人関西学院へ転職し、関西学院東京丸の内キャンパス担当となる。『関西学院の首都圏での認知度向上』をミッションに、学生の就職支援、教員の研究支援、産学官連携、生涯学習の推進、同窓生との連携の取組を行っている。最近の趣味は、ゴルフ。

講師プロフィール



巳波 弘佳

(みわ ひろよし)

関西学院大学 副学長
情報化推進機構長
工学部教授・博士(情報学)

1992年東京大学理学部数学科卒業。NTT研究所を経て、2002年関西学院大学理工学部情報科学科専任講師。2006年助教授、2012年教授。2000年京都大学博士(情報学)。研究分野は主に数理工学。離散数学や最適化アルゴリズムに関する理論研究だけでなく、AI、物流、コンピュータグラフィックス、音楽、宇宙物理学や化学など、さまざまな応用領域において、数理的な研究から実用化まで幅広く行っている。最近「香りの言語学」をはじめ、フードテックの研究も手掛ける。関西学院大学「AI活用人材育成プログラム」統括、文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」関係の委員会委員、私立大学連盟教育研究委員会委員、兵庫県経済・雇用戦略推進会議委員なども務める。趣味はクラシック音楽やオペラの鑑賞、美術や建築の鑑賞。



西成 活裕

(にしなり かつひろ)

東京大学 工学系研究科航空宇宙工学専攻
先端科学技術研究センター(兼任) 教授

1967年東京都生まれ。東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。博士(工学)の学位を取得。その後、山形大学、龍谷大学、ドイツのケルン大学理論物理学研究所、東京大学先端科学技術研究センター教授を経て、現在は東京大学大学院工学系研究科教授。様々な渋滞を分野横断的に研究する「渋滞学」を提唱し、著書「渋滞学」(新潮選書)。講談社科学出版賞などを受賞。文部科学省「科学技術への顕著な貢献2013」に選出、2021年に「スマホ歩き」の混雑の研究により「イグ・ノーベル賞」を受賞。2025年度「世界で最も影響力のある科学者リストの世界トップ2%」に選出される。また、東京オリンピック・パラリンピック大会組織委員会のアドバイザー、世界陸上や大阪万国博覧会のアドバイザー、国土交通省、経済産業省、文部科学省などの有識者委員も多数務めている。日本経済新聞「明日への話題」の連載、日本テレビ「世界一受けたい授業」に多数出演するなど、多くのテレビ、ラジオ、新聞などのメディアでも活躍している。専門は数理物理学、渋滞学。趣味はオペラを歌うこと、読書、競馬予想、合気道の稽古など。



石澤 直孝

(いしざわ なおたか)

日本郵船
NYKデジタルアカデミー学長

1991年一橋大学商学部卒業。日本郵船株式会社 入社。2005年より2013年まで「バーコード・RFIDタグ」の国際規格団体である「国際標準規格団体GS1」(旧名:EPC Global 本部:ベルギー・ブラッセル)の物流部会・共同議長として創世記の「IoT(もののインターネット)技術の普及促進、国際標準規格の審議に参画。2014年から2019年まで日本郵船グループのインド現地法人・NYK Indiaの代表取締役として活躍。同社をインド国内の自動車物流市場で最大のシェアとした。確立した経営手法でアフリカ地域に展開しケニア、ウガンダ、タンザニアなどで国内市場で最大のシェアとする。現在は現職のNYKデジタルアカデミー学長としてイノベーションの社会実装の挑戦しながら学ぶ独自のリベラル・アーツ教育手法を開発する。受講者が発案し新規案件の実案件化が相次いでいる。

ブレインストーミング参加者プロフィール



杉田 弘毅

(すぎた ひろき)

明治大学 政治経済学部政治学科特任教授。
一般社団法人 共同通信社 客員論説委員。

1980年 一橋大学法学部卒業。共同通信社・入社。テヘラン支局長、ニューヨーク特派員、ワシントン特派員、ワシントン支局長を経て編集委員室長、論説委員長、特別編集委員を歴任。著書多数。「アメリカはなぜ変わるのか」「アメリカの制裁外交」「ポスト・グローバル時代」の地政学など。テレビ出演多数で現在も続けている。現在は明治大学・政治経済学部にて国際政治とメディアの講義を行っている。趣味は水泳、映画鑑賞



中野 好純

(なかの よしずみ)

株式会社船井総研サプライチェーン
コンサルティング ディレクター

1993年 P&Gファーマーイーストインク(現P&Gジャパン)入社。買収先のS&OPモデルの構築。コスメ関連、ヘアケア関連のサプライチェーン再構築に従事
1998年 船井総合研究所に転職し、サプライチェーン関連プロジェクト、市場戦略プロジェクトなど大企業向けのプロジェクトを統括
2012年 船井(上海) 商務信息咨询会社の開業を牽引し、総経理として上海に赴任。現地では日系大手企業の市場シェア拡大と外食チェーンの中国企業の会員制コンサルティングを展開
2020年 船井総研ロジ株式会社(現株式会社船井総研サプライチェーンコンサルティング)に転職し、新規事業の立ち上げ、サプライチェーン関連コンサルティングの領域拡大に従事

モデレータープロフィール



清水 俊晴

(しみず としはる)

人財フォーラム株式会社 CEO

1972年慶応義塾大学・法学部・法律学科卒業。大学3年時にダブルスクールでコンピュータの専門学校(夜学)で学ぶ。外資系コンピュータ・メーカーにてシステムエンジニアとして勤務。主にOSの日本語化、ネットワークの設計、マーケティングに従事。1987年に独立しソフトウェアハウスを開業し、外資系メーカーとの協業などを行い、大学、専門学校、民間企業のIT関連の技術講師を務める。2002年より「ロジスティクス人財フォーラム」を主催。12大学で学生向けに「ロジスティクス」の魅力を発信している。多くの大学教授の皆様、大学キャリアセンターの皆様、メディアの皆様、各種団体の皆様、そして企業の皆様を支えられ「ロジスティクス人財フォーラム」は成り立っている。趣味は海外旅行、登山、ネイティブカナディアン文化調査、イタリヤ文化全般などでバタゴニア創業者のイヴォン・シュイナード氏の58年来の熱烈なファン。ウズベキスタンには旧ソ連に抑留された日本人の墓参という特別の思い出があり11回渡航している。現在は「たぬぎを訪ねて3千里」の旅(「たぬぎ」がいる全国(北海道から九州まで)の動物園巡り)を続けている。

〈ご支援のお願いについて〉 関西学院大学 体育会男子ラクロス部

関西学院大学には42部の体育会があり、約2,500名が活動しています。中でも男子ラクロス部は120名が在席しています。ラクロスという競技は比較的歴史が浅いことから、活動にあたっては様々な苦勞が多いのが現状です。例えば、大学のグラウンド利用もラグビー、サッカー等の伝統クラブに比べて優先順位は低く、メインの時間以外(早朝・夜間)など限定されており、グラウンドを自由に使うことが出来ない。そのため河川敷グラウンドなど個別に場所を確保して活動している。もちろんゴールポストも自分たちで運ぶなどを行っており、人財フォーラム清水様には、ご寄付を頂いております。是非この機会に皆様のご支援を賜りたくお願い申し上げます。

関西学院大学東京丸の内キャンパス

